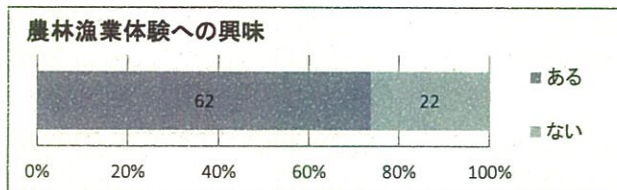


## 5. 農林漁業体験について

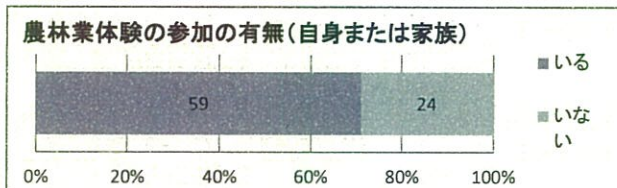
### (1) 農林漁業体験への興味の有無(問11-1)

|    |    |
|----|----|
| ある | 62 |
| ない | 22 |



### (2) 農林漁業体験者の有無(問11-2)

|     |    |
|-----|----|
| いる  | 59 |
| いない | 24 |

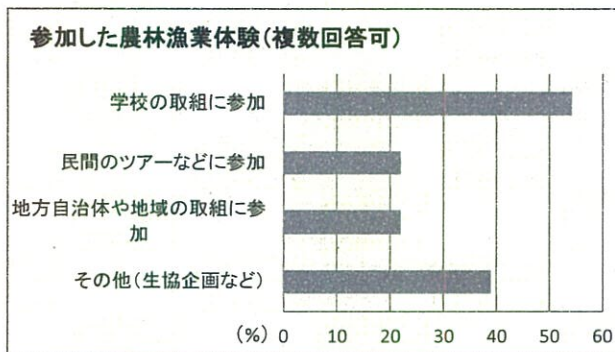


田植え、稲刈り、野菜の収穫などの農林漁業体験について、7割以上が興味がある」と回答していて、本人または家族の中で農林漁業体験に参加した人が「いる」割合も7割を超える。

### (3) 参加した農林漁業体験(問11-3-1)＜5(2)で「いる」と答えた人のみ＞

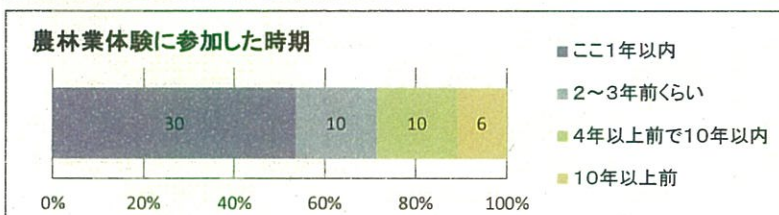
|                |    |
|----------------|----|
| 学校の取組に参加       | 32 |
| 民間のツアーなどに参加    | 13 |
| 地方自治体や地域の取組に参加 | 13 |
| その他(生協企画など)    | 23 |

本人または家族が参加した農林漁業体験の内容は、「学校の取組に参加」(54.2%)が最も高い。また、「その他」も39.0%と高く、「生協の企画で」という声が多い。



### (4) 一番最近に農林漁業体験に参加した時期(問11-3-3)＜5(2)で「いる」と答えた人のみ＞

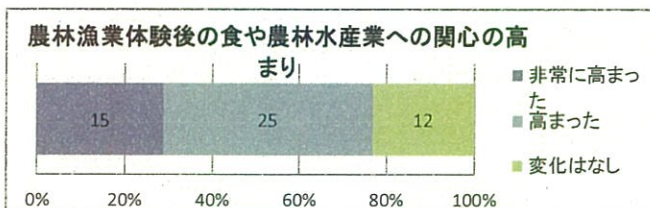
|             |    |
|-------------|----|
| ここ1年以内      | 30 |
| 2～3年前くらい    | 10 |
| 4年以上前で10年以内 | 10 |
| 10年以上前      | 6  |



本人または家族が参加した農林漁業体験の一番最近に参加した時期は、「ここ1年以内」が最も高い。

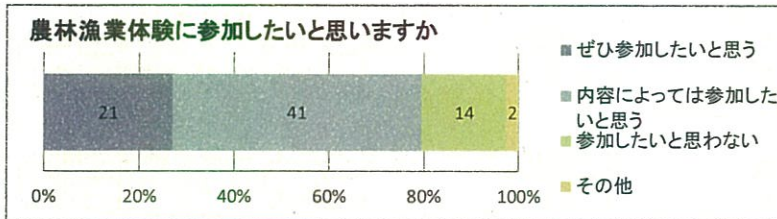
### (5) 農林漁業体験による関心の変化(問11-4)＜5(2)で「いる」と答えた人のみ＞

|         |    |
|---------|----|
| 非常に高まった | 15 |
| 高まった    | 25 |
| 変化はなし   | 12 |



(6) 農林漁業体験への参加意向(問11-5)

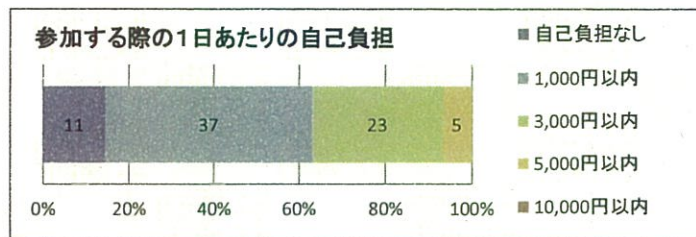
|                 |    |
|-----------------|----|
| ぜひ参加したいと思う      | 21 |
| 内容によっては参加したいと思う | 41 |
| 参加したいと思わない      | 14 |
| その他             | 2  |



農林漁業体験に参加した結果、体験前に比べて食や農林水産業への《関心が高まった》のは76.9%となっていて、今後の農林漁業体験への参加意向は、《参加したい》は、79.5%となっている。

(7) 農林漁業体験に参加する場合の自己負担額(問11-6)

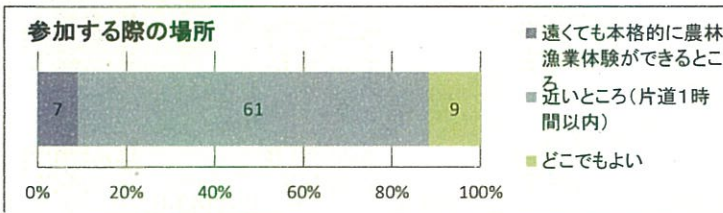
|               |    |
|---------------|----|
| 自己負担なし        | 11 |
| 1,000円以内      | 37 |
| 3,000円以内      | 23 |
| 5,000円以内      | 5  |
| 10,000円以内     | 0  |
| 10,000円以上でもよい | 0  |



農林漁業体験に参加する場合に、自己負担できる金額(1日あたり)は、「1,000円以内」が最も高い(43.0%)。全体の約9割は自己負担できるとし

(8) 農林漁業体験の参加希望場所(問11-7)

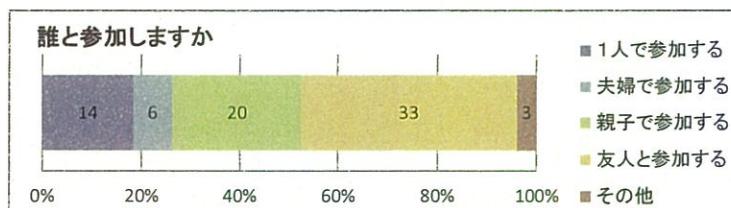
|                     |    |
|---------------------|----|
| 遠くても本格的に農林漁業体験ができると | 7  |
| 近いところ(片道1時間以内)      | 61 |
| どこでもよい              | 9  |



農林漁業体験の参加希望場所は、「近いところ(片道1時間以内)」が約8割を占める。

(9) 農林漁業体験と一緒に参加する人(問11-8)

|         |    |
|---------|----|
| 1人で参加する | 14 |
| 夫婦で参加する | 6  |
| 親子で参加する | 20 |
| 友人と参加する | 33 |
| その他     | 3  |

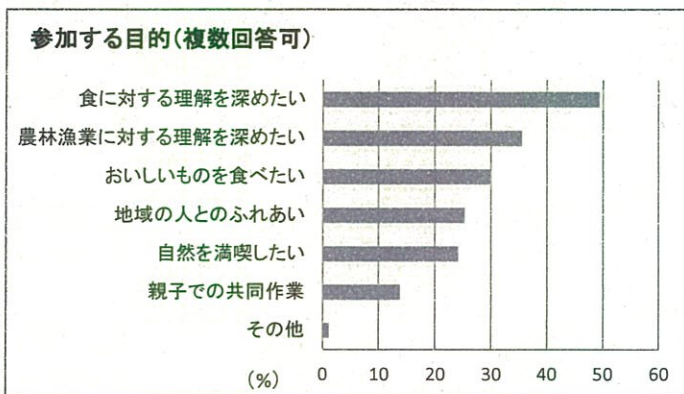


農林漁業体験に参加する場合と一緒に参加する人は、「友人と参加する」が43.4%で最も高い。



(10) 農林漁業体験に参加する目的(問11-9)

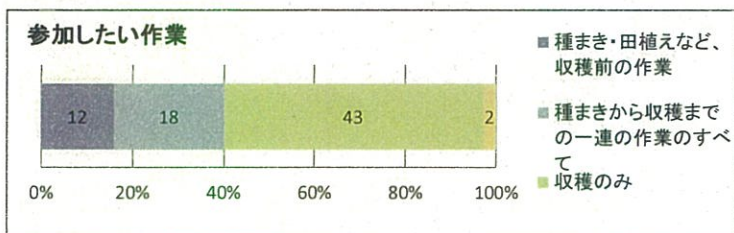
|                 |    |
|-----------------|----|
| 食に対する理解を深めたい    | 43 |
| 農林漁業に対する理解を深めたい | 31 |
| おいしいものを食べたい     | 26 |
| 地域の人とのふれあい      | 22 |
| 自然を満喫したい        | 21 |
| 親子での共同作業        | 12 |
| その他             | 1  |



農林漁業体験に参加する目的は、「食に対する理解を深めたい」(49.4%)が高く、「農林漁業に対する理解を深めたい」「おいしいものを食

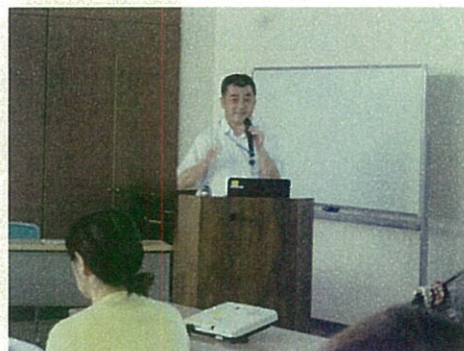
(11) 参加したい農林漁業体験(問11-10)

|                     |    |
|---------------------|----|
| 種まき・田植えなど、収穫前の作業    | 12 |
| 種まきから収穫までの一連の作業のすべて | 18 |
| 収穫のみ                | 43 |
| その他                 | 2  |



農林漁業体験の中で参加したい作業をしては、「収穫のみ」が半数以上を占めている。

## 学習会「今後の食育推進施策及び食生活指針について」



6月4日（木）みやぎ生協文化会館ウィズで、今年度2回目となる「食のかたりべ養成講座」が開かれ、メンバー107人が参加しました。今回は東北農政局消費・安全部 消費生活課長の山内洋志さんから、「農林水産省 平成26年度食育活動の全国展開委託事業報告と今後の食育推進の方向性」及び「食生活指針」についてお話しいただきました。

「日本型食生活」とは、ご飯を中心に魚、肉、牛乳・乳製品、野菜、海藻、豆類など多様な副食などを組み合わせ、栄養バランスに優れた食生活です。一食や一日単位ではなく一週間の中でバランスを考えること、冷凍食品やレトルトを使ってもOKなど、実効性の高い「日本型食生活」の推進について、食生活に関する調査結果とともに報告されました。

### ♪ 参加者の声 ♪

・第一次から10年たっているが、日本型食生活の周知度が低いのは残念だと思いました。自分の子どもたちから料理をさせ、食の大切さを教えていかなければと思いました。また、食生活指針について、メンバーさんに広めていくことが一番だと思いました。

・専業主婦ではない私は、手作りしたおかずが多品目食卓に並べていた母のようににはできない現実を実感しています。食育の大切さを知りながら実践できないもどかしさ。外食したとしてもできる食育！私なりに考えたいと思いました。

